

令和
6年度

COMPASS 発達支援センター姫路

事業所における自己評価総括表(公表)

○事業所名	COMPASS 発達支援センター姫路
○保護者評価実施期間	令和6年9月9日～令和6年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 19名 (回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	令和6年9月9日～令和6年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6名 (回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月22日

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の発達段階に応じたプログラムを立案しています。	個別支援計画や家族支援での相談内容をもとに、児童の課題について職員全員で話し合い、職種ごとの視点を活かしたプログラムを立案しています。	今後も様々な視点から評価・課題分析・日々の振り返りをおこない、より良い支援の提供に努めます。
2	保護者様(家庭)への支援体制を整えています。	日頃から児童の状況や課題について保護者様と共有し、共通理解のもと支援を提供できるよう努めています。また、困りごとがあれば速やかに相談援助をおこなっています。	今後も保護者様と密に連携し、意向に沿った支援が提供できるよう努めます。
3	言語聴覚士による専門的な支援をおこなっています。	個々に合わせた言語訓練を実施し、発話明瞭度の向上や読み書きなど、コミュニケーションの基礎となる言語面の課題に取り組んでいます。	今後も専門性を高め、安定した質の高い支援が提供できるよう努めます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館など、地域の子どもと交流する機会が少ない状況です。	利用時間内に地域の子どもたちと交流する機会を設けることが難しい状況です。	長期休暇などに交流の機会を見つけ、参加できるよう検討してまいります。
2	保護者会の開催など、保護者様同士の交流の機会を設けていません。	営業時間内に事業所で交流の場を設けることが難しく、日程調整も困難な状況です。	保護者様の意向を調査し、開催の可能性を検討してまいります。
3			